

日曹くん煙剤のエース・ストライカー

施設栽培の病害防除に

強力くん煙殺菌剤

トリフミン® ジェット

トリフルミゾール.....10.0%

殺菌剤分類 3

人畜毒性：医薬用外劇物

包装：(50g×5錠)×10パック×4箱



きゅうり
うどんこ病



すいか
うどんこ病



メロン
うどんこ病



ズッキーニ
うどんこ病



こんにゃく
乾腐病



ばら
うどんこ病



きく
白さび病



チューリップ
球根腐敗病



ピーマン・
ししとう
うどんこ病



いちご
うどんこ病



トマト
ミニトマト
葉かび病



さや
えんどう・
実えんどう
うどんこ病



なす
すすかび病
うどんこ病



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
お問合せ (03) 3245-6178
(平日9~12時、13~17時、土日祝祭日を除く)



最新の登録内容



使用方法(動画)

適用病害と使用方法

適用場所	作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤及びトリフミンゾールを含む農薬の総使用回数	使用方法	
温室 ビニールハウス等 密閉できる場所	きゅうり、いちご ピーマン、ししとう メロン、すいか さやえんどう、実えんどう	うどんこ病	くん煙室容積 400m ³ 高さ2m、 (床面積200m ²) 当り	50g	収穫 前日まで	5回以内	くん煙
	トマト、ミニトマト	葉かび病					
	なす	うどんこ病 すすかび病					
	ズッキーニ、ズッキーニ(花)						
	ふき	うどんこ病	100g	収穫14日 前まで	3回以内		
	ばら			—	5回以内		
	きく	白さび病					
	こんにゃく	乾腐病	くん煙室容積2m ³ (高さ2m、床面積1m ²) 当り50~100g	植付前	1回		
チューリップ	球根腐敗病	くん煙室容積1m ³ 当り50g					

点火方法

付属のつり具を使い、つり下げて使用する場合
(つり具の組み立て方)

①アームを垂直に引き上げる。
②～⑤を折り曲げる。

つり具の内面と外面を確認する

(できあがり)

薬剤に直接点火すると炎が出るので、つり具に薬剤をのせて、点火紙を点火口に正しくセットし、**点火紙の先端にマッチやライターなどで点火する。**点火紙に点火後、10～15秒後に発煙する。

つり具はケースの中に、点火紙はポリ筒の中に入っています。

点火は以下の通りに行ってください。

●点火紙を用いる場合

同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火します。点火紙を薬剤の上のせて点火すると、炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出て、そのまま放置してください。

●電気式点火・くん煙装置を使用する場合

装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室には入らずに、そのまま放置してください。

●点火後は、くん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

設置方法(10アールハウスの場合)

正方形に近いハウスの場合

長方形のハウスの場合

(きゅうり・すいか・メロン・ピーマン・ししとう・さやえんどう・実えんどう・いちご・トマト・ミニトマト・ズッキーニ・なす・ふき・ばらに使用する場合。)

つり具は栽培作物の高さでつり下げるか、不燃性の台などの上のせて使用する。
〔台などを利用する場合も、必ずつり具を使用する。〕

効果・薬害等の注意

- 温室・ガラス室・ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満遍なく行きわたるようにしてください。
- くん煙する場合は、添付のつり具または電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具及び電気式点火・くん煙装置はつり下げるか、または不燃性の台などの上のせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニールなどの被覆材とは、60cm以上離れた位置で使用してください。
- 日中のくん煙はさけ、夕刻からくん煙し、翌朝開放してください。
- 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないでください。
- 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗等には薬害を生ずるおそれがあるので、使用はさけてください。
- 使用方法などを厳守してください。適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任におい

《メロンへの影響》ハウスなどの施設栽培メロンに使用する場合、特にネット系メロンでは、交配2～3日前から交配20日後までの幼果の時期には、薬害を生ずるおそれがありますので、この時期の使用はさけてください。

使用薬量の決め方

ハウスの面積	200m ² (約61坪)	600m ² (約182坪)	1,000m ² (約303坪)
ハウスの容積 (高さ2mとして)	400m ³	1,200m ³	2,000m ³
使用量	1錠	3錠	5錠

(重ねて使用する場合には、1箇所2錠までとしてください。)

て事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の担当を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 点火などの作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- くん煙中はハウス内に入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

保管：密封し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

本剤使用の際は

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。